

# 力強く前進



寄居町議会議長  
吉澤 康広

## 共に歩む一年

令和8年の干支は「午年」、馬の年です。馬は、古来より「進む力」「力強さ」を象徴するとされています。私たち議会も、この「進む力」を胸に、町民の皆さんと共に歩んでいく決意を新たにしております。議会の役割は、行政を監視することだけではなく、町民の声を反映させ、町の未来を共に築いていくことだと考えています。皆様と共に歩むことで、寄居町がよ

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さんにおかれましては、希望に満ちた新しい年を迎えたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より町議会活動に温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

私は、昨年6月に埼玉県町村議会議長会の会長に就任し、新たな責任を担うこととなりました。この役割を通じて、寄居町をはじめとする町村の発展に貢献できるよう、県内町村議会との連携強化を図り、町民の皆様の声をしっかりと反映させてまいります。

## 地域の未来を築くために

寄居町議会は、町民の皆さん一人一人の声を大切にし、その意見を町の発展につなげるため、引き続き議会活動に全力で取り組んでまいります。

町の未来を築くためには、町民の皆さんと一緒に力を合わせ、継続的に課題に取り組んでいくことが不可欠です。地域の課題として、防災対策や高齢化社会への対応、そして子育て支援など、解決すべき重要な問題が多くあります。これらの課題に取り組むためには、議会、行政、そして町民が一丸となつて共に解決策を模索し、実行に移していくことが最も重要です。議会は、常に町民目線を忘れず、実効性のある政策を提案し、町民の生活向上につながる施策を推進していく所存です。

## 結びに

町民の皆さんにおかれましては、力強く、前進し続ける年となることを心から願い、引き続き、皆様のご支援、ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



寄居町長  
岸 峰 克明

新年明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年の大きなテーマですが「人生を楽しむ」とさせていただきました。日本ではこれまで「頑張る」ことが重視されてきました。人生は甘くないのだから頑張らねばならない、仕事は報酬を得るのだから頑張らねば…など、など。勝つためには人の2倍、3倍努力しなければ…など。もちろん、頑張ること、努力することは絶対必要ですが、もうワンランク上の成果を上げるために、ここに「楽しむ」を加えることがとても大切です。

オリンピックやスポーツの国際大会を見るとよく分かりますが、かつての日本選手は日の丸を背負い、国の代表として結果を出さなければ国に帰れないという気持ちになるほど、自分自身を追い込んで試合に臨んでいました。始まる前から大変なプレッシャー自分自身にかけ、試合では実力を発揮できずに終わるという姿も少なくありませんでした。今はメンタルトレーニングが発達し、どうやつたら本当に能力が十分発揮できるかが分かっています。そのおかげで、近年の日本選手の国際大会での活躍は目覚ましいものがあります。

これはスポーツの世界だけにとどまらず、仕事も人生も

「楽しむ」と言われてもどうしたらいいか分からぬ、という人にオススメのが「笑顔」です。「笑う門には福来たる」ということわざがありますが、その意味は「良いことがあつたから笑顔になる」ではなく、「笑顔でいるから良いことが起こる」ということ。これは科学的にも証明されています。笑顔と前向きで明るい言葉を心がけている人の所に幸運がやってきます。小さな幸せと感謝の積み重ねが大きな幸せにつながります。

人生を楽しむ大人が増えていることが、これから日本の、そして寄居町の最大の「のびしろ」であり、あらゆる課題解決の重要なファクターになると考えています。

結びに、令和8年も「可能性∞(むげんだい) 笑顔満タン よりいまち」をどうぞよろしくお願ひいたします。

## 「笑顔」と「明るい言葉」

同じであると思います。何もせずにじつとしているだけでは結果が出ませんが、つらいことを我慢しながら続けているだけでも良い結果にはつながりません。皆さんも好きなことをしている時は時間がたつのが早く、長時間やついてもさほど疲れない、しかも結果や成果がついてくる。こんな経験をされたことがあるのではないかと思います。

人口減少、少子化、人生100年時代を迎えている日本において必要なことは、がむしゃらに頑張ることから一步進しやすい社会、環境、組織をつくることであると思います。